

船舶事故等調査報告書

平成26年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第25号
事故等種類	衝突
発生日時	平成26年1月1日 07時48分ごろ（1件目の事故） 平成26年1月1日 08時12分ごろ（2件目の事故）
発生場所	広島県尾道糸崎港 （1件目の事故） 浮きドック 広島県尾道市所在の尾道灯台から真方位240° 340m付近 （概位 北緯34° 24.0′ 東経133° 11.5′） （2件目の事故） 着岸中のB船 尾道灯台から真方位266° 540m付近 （概位 北緯34° 24.1′ 東経133° 11.4′）
事故等調査の経過	平成26年2月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 なは2、1,138トン 141780、丸三海運株式会社 B 貨物船 海邦 ^{かいほう} 、1,090トン 136792、丸三海運株式会社 C 浮きドック（船名なし）、不詳 なし、向島ドック株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長A、三級海技士（航海） B 船長B、三級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	A 右舷船尾部及び右舷船首部に擦過傷 B 左舷船首部ハンドレールに曲損 C 北西端部の支柱に曲損
事故等の経過	（1件目の事故） A船は、船長Aほか10人が乗り組み、船首約3.50m、船尾約4.00mの喫水により、船長Aが、二等航海士Aを操舵に就けて操船指揮に当たり、船首に4人、船尾に2人をそれぞれ配置し、尾道市所在の西御所岸壁に係船しているB船に回頭して右舷着けで接舷するため、微速力前進、中立を繰り返し、尾道水道を東進した。 船長Aが、西御所岸壁前面において、舵とスラスターを使って左回頭中、風と潮流の影響により、A船が、浮きドック（C）に向けて圧

	<p>流されたので、右舵一杯として機関を半速力前進にかけたが、平成26年1月1日07時48分ごろA船の右舷船尾部が浮きドック(C)の北西端と衝突した。</p> <p>(2件目の事故)</p> <p>その後、A船は、舵と機関を使用して尾道水道を西に向け、B船と平行状態となり、機関、舵及びスラスタでB船に接近したところ、風潮流に圧流され、08時12分ごろA船の右舷船首部がB船の左舷船首部ハンドレールに衝突した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 西南西、風速 約13m/s、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮流 東流約2ノット</p>
その他の事項	<p>B船は、向島ドックが用意した直径約1.5m、長さ約2.5mのフェンダー2個を左舷側に設置したが、軽喫水となっており、船首尾部に設置しても効果がないため、船体中央付近に約20mの間隔で設置していた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B なし、C なし</p> <p>A なし、B なし、C なし</p> <p>A あり、B なし、C なし</p> <p>(1件目の事故)</p> <p>A船は、尾道水道において、西御所岸壁に係船中のB船に岸壁前面で左回頭して右舷着けの接舷作業中、風潮流に圧流されたことから、A船の右舷船尾部と対岸の浮きドック(C)の北西端とが衝突したものと考えられる。</p> <p>(2件目の事故)</p> <p>A船は、尾道水道において、西御所岸壁に係船中のB船に岸壁前面で左回頭して右舷着けの接舷作業中、対岸の浮きドック(C)に衝突した後、左回頭し、B船と平行状態として接近したところ、風潮流に圧流されたことから、A船右舷船首部とB船左舷船首部とが衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>(1件目の事故)</p> <p>本事故は、A船が、尾道水道において、西御所岸壁に係船中のB船に岸壁前面で左回頭して右舷着けの接舷作業中、風潮流に圧流されたため、A船と対岸の浮きドック(C)が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p> <p>(2件目の事故)</p> <p>本事故は、A船が、尾道水道において、西御所岸壁に係船中のB船に岸壁前面で左回頭して右舷着けの接舷作業中、対岸の浮きドック(C)に衝突した後、左回頭し、B船と平行状態として接近したところ、風潮流に圧流されたため、A船とB船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>

参考	<p>船舶所有者は、本事故後、舵設備の改善を検討することとした。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・風潮流の影響を考慮して接舷時機、支援船の要請等を検討すること。
-----------	---